



平成 23 年 1 月 19 日

各 位

上場会社名 株式会社ネクスト
代表者名 代表取締役社長 井上 高志
(コード番号 2120 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 浜矢 浩吉
(TEL. 03-5783-3603)

自然言語処理技術を有する株式会社リッテルの株式取得（株式譲渡契約）に関するお知らせ

株式会社ネクスト(本社:東京都港区、代表取締役社長:井上高志、東証第一部:2120)は、東京大学との産学連携企業である株式会社リッテル(本社:東京都文京区、代表取締役社長:和田憲治、「リッテル社」)の株式を取得するため、同社の株主(同社役員及び従業員)との株式譲渡契約を締結する旨、本日開催の取締役会にて決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、本株式取得により同社は当社の完全子会社となる予定です。

リッテル社の CTO である清田陽司氏は世界有数の研究者であり、特に自然言語解析の分野で活躍しております。本株式取得による技術力の取得により、当社グループの中期経営戦略として掲げている「DB+CCS(データベース+コミュニケーション&コンシェルジュサービス)でグローバルカンパニーを目指す」を実現してまいります。

1. 株式取得による子会社化の目的

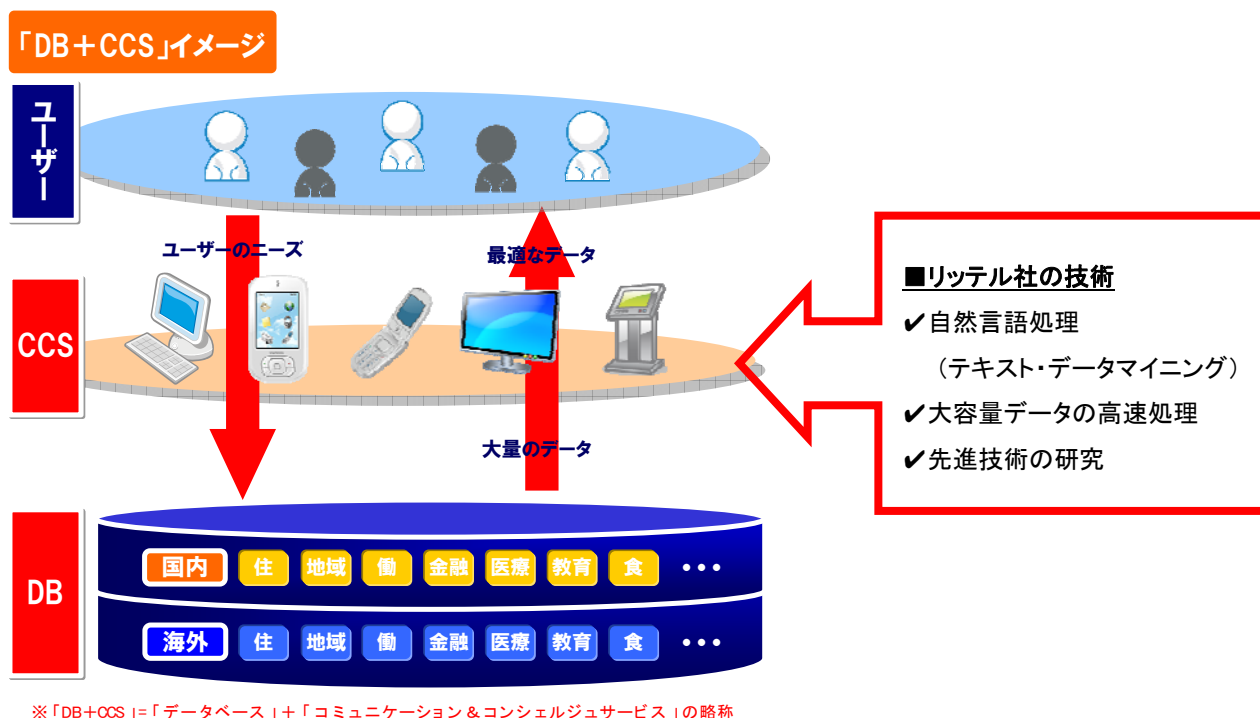
当社グループは「常に革進することで、より多くの人々が心からの『安心』と『喜び』を得られる社会の仕組みを創る」という経営理念の下、創業以来、住宅購入者や賃借人と不動産会社間の情報の非対称性といった住まい探しにおける「不安」、「不満」、「不便」の「不」を取り除き、「人と住まいのベストマッチング」を実現すべく、不動産情報サービス事業を中心に、住宅・物件情報をオープンにし、住まいの周辺情報の提供を行うことで急成長を果たしてまいりました。

さらに、当期より中期経営戦略を「DB+CCS(データベース+コミュニケーション&コンシェルジュサービス)でグローバルカンパニーを目指す」といたしました。これは、世の中に溢れている大量の情報を集め、DB に蓄積・整理統合し、情報を必要としているユーザーに、あらゆるデバイスを通じて最適な情報を提供していくことを目指しております。中期経営戦略実現には、大量の情報から最適な情報を提供する技術や潜在的なニーズに対して情報発信するレコメンデーション・エンジンの開発を重要課題のひとつとして据えております。

リッテル社は CTO の清田陽司氏を中心に「情報リテラシー」、「情報技術」、「自然言語処理」を軸とした事業展開を行っている企業であり、東京大学情報基盤センター学術情報研究部門(中川研究室)との産学連携で設立されており、同部門で研究されてきた自然言語処理および情報ナビゲーションに関する技術を事業化しております。

リッテル社の有する先進技術(自然言語処理や大容量データの高速処理(Hadoop))と当社グループのサービスを組み合わせ、サービスの強化を図ること及び今後の当社グループの成長を支え、次世代サービスを生み出す研究開発部門として、世の中に価値を提供していくとの認識で一致し、本契約締結を決定いたしました。

<リッテル社の技術を伴った「DB+CCS」のイメージ図>



2. 対象会社(異動する子会社)の概要

- (1) 商号 株式会社リッテル
- (2) 代表者 代表取締役社長 和田 憲治
- (3) 所在地 東京都文京区本郷7丁目3番1号 東京大学アントレプレナープラザ 405
- (4) 事業内容 「情報リテラシー」、「情報技術」、「自然言語処理」を軸とした事業
- (5) 資本金 100 百万円
- (6) 設立年月日 平成 19 年4月2日
- (7) 大株主 水谷治朗(同社代表取締役会長、持分比率 65.6%)、和田憲治(14.4%)
他、同社の取締役及び従業員(元従業員を含む)10名

(8) 当社との関係

資本関係:記載すべき特別な事項はありません。

人的関係:記載すべき特別な事項はありません。

取引関係:当社よりリッテル社に対して、システム開発の一部業務を委託しております。

(9) 最近事業年度における業績の動向

単位:千円

	平成 20 年3月期	平成 21 年3月期	平成 22 年3月期
売上高	42,352	58,457	48,439
営業利益	△8,011	9,491	△27,922
経常利益	△5,234	12,252	△26,771
当期利益	△5,399	10,167	△26,956
純資産	68,100	78,267	77,811
総資産	89,872	118,349	134,441

3. 株式取得の主要な相手先の概要

(1)氏名	水谷 治朗	和田 憲治	他 10 名
(2)住所	大阪市淀川区	神奈川県横浜市	—
(3)当社との関係	資本関係	記載すべき事項はありません。	記載すべき事項はありません。
	人的関係	記載すべき事項はありません。	記載すべき事項はありません。
	取引関係	記載すべき事項はありません。	記載すべき事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

- (1) 異動前の所有株式数 0株(所有割合 0%)
- (2) 取得株式数 1,916 株(取得価額は1株 150,000 円 合計 287,400,000 円)
- (3) 異動後の所有株式数 1,916 株(所有割合 100%)

5. 今後の日程

- (1) 株式譲渡契約締結 平成 23 年1月 19 日(水)
- (2) 株式譲渡日 平成 23 年2月中(予定)

6. 今後の見通し

現在のところ、当社の業績に与える影響は軽微と見込んでおりますが、今後、本件が当社の業績に重大な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

7. 清田 陽司氏について

清田 陽司 (きよた ようじ)

東京大学 情報基盤センター 学術情報研究部門 (中川研究室) 特任講師
博士(情報学)

■研究分野

自然言語処理(情報検索, 質問応答, 対話システム, テキストマイニング)

■研究テーマ

- ・図書館レファレンス・サービスの自動化
- ・事例レポートのマイニング
- ・大規模な自然言語テキストを知識として用いる自動質問応答システム

■経歴

京都大学工学部電気工学第二学科卒業、同大学院情報学研究科修士課程および博士課程修了。2004 年より東京大学情報基盤センターの助手・助教を経て、2007 年 4 月にテーマとしている情報検索分野での研究成果を民間企業を通じて世の中に広めるため、株式会社リッテルの上席研究員となる。

自然言語解析技術や先進 UI テクノロジーを駆使した「リッテルナビゲーター」を開発。同サービスは図書館利用者の調べ事や質問に対し、Web 上の外部情報と図書館内の情報を体系化・統合することで、探索のヒントを提示し回答へナビゲートする。利用者の問いかけに対して「体系付けられた関連項目」「入力ワードに対する関連ワード」をヒントとして提示することで最適な回答へとナビゲートが可能。東京大学、同志社大学、国立国会図書館等に採用されている。

以 上